

平成28年度鎌ヶ谷市献血推進協議会 会議録

開催日時：平成29年3月24日（金） 13：30～14：20

開催場所：総合福祉保健センター4階会議室

出席者

委員

堀江直茂会長、大石孝委員、渋谷将重委員、藤田次男委員、豊田朋二委員
千葉県赤十字血液センター

荒川宣夫副部長、土屋啓之推進一係長

事務局

菅井健康増進課長、本間主幹、舘岡係長、鎌田主査

欠席者

中西伸一委員、井出勝則委員、皆川洋子委員、田中真澄委員、服部裕介委員
三浦弘委員

傍聴者 なし

議題

1. 平成28年度献血事業実績について
※千葉県献血状況について
2. 平成29年度献血事業実施計画について
3. その他

(事務局)

本日は、お忙しい中、鎌ヶ谷市献血推進協議会にご参集いただきまして、ありがとうございます。私は、本日議事までの間、司会・進行を務めさせていただきます、健康増進課の本間と申します。どうぞよろしくお願い致します。

さっそく議事に入りますが、本会の議長は、鎌ヶ谷市献血推進協議会設置要綱第5条により、会長が務めることとなっておりますので、会長に議事進行をお願いいたします。

(堀江会長)

それでは、早速、お手元の会議次第に基づき、議事進行させていただきます。まず「会議録署名人の選任について」ですが、事務局説明願います。

(事務局)

議事録署名人は、後日、事務局で本日の会議の記録を作成しますので、その確認の署名をお願いするものです。慣例ですと、名簿順としており、今回ご出席者

の中で、豊田委員と藤田委員にお願いしたいと存じます。

(堀江会長) 皆さん、いかがですか。

(一同) 異議なし

(堀江会長)

それでは、豊田委員と藤田委員にお願いします。また、議事録については、概要記載か、一言一句記載か、また、発言者名の記載はいかがいたしますか。参考として、事務局から説明してください。

(事務局) これまでの議事録は概要記載し、発言者名を記載しておりました。

(堀江会長) 皆さん、今までどおりでよろしいですか。

(一同) 異議なし

(堀江会長)

では、例年通り議事録の作成をお願いいたします。この会議の公開について、事務局説明してください。

(事務局)

「鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、法令又は条例の規定により会議が非公開とされる場合を除きまして、原則公開となっておりますので、当会議におきましても、原則公開とさせていただければと思います。

(堀江会長) 皆さん、よろしいですか。

(一同) 異議なし

(堀江会長) 事務局、本日は傍聴の希望はありますか。

(事務局) ありません。

(堀江会長)

それでは、早速、お手元の会議次第に基づき、議事進行させていただきます。
議題1「平成28年度献血事業実績について」事務局説明を願います。

(事務局)

資料編1 ページ目の「1. 平成28年度献血事業実績」をご覧ください。

鎌ケ谷市主催事業実施状況については(1)のとおりです。

次に、事業所等主催事業実施状況については、2 ページ目の(2)のとおりです。(1) 鎌ケ谷市主催事業実施状況と(2) 事業所等主催事業実施状況の合計については、3 ページ目の(3) 献血区分別実施状況のとおりで、200ミリリットル献血については、実績人数68人、400ミリリットル献血については、実績人数476人、合計544人でした。

なお、平成26年度と平成27年度も掲載しておりますが、平成28年度分につきましては、2月末現在の実績となります。また、同様に習志野保健所管内の習志野市、八千代市の分もありますが、こちらも2月末現在となっております。参考資料として、県内各市町村の2月末現在の献血状況が別紙にあります。

市役所が会場である日は、事前に庁内職員に献血への協力を庁内LANでお知らせし、当日、血液センター担当者と私が各課へご協力をお願いもしているところでございます。

今年度も委員の皆様また関係団体様にはご協力いただき、ありがとうございました。

それでは、千葉県献血状況について、千葉県赤十字血液センターからご説明させていただきます。

(血液センター)

千葉県赤十字血液センターの荒川でございます。

お手元の資料ですが、千葉県の献血状況と平成28年度の赤血球製剤供給状況、鎌ケ谷市役所の献血実績の3枚です。

まず、千葉県の献血状況の資料をご覧ください。平成27年度の千葉県の献血者数は、延べ221,536人で、受け入れ目標数の94.7パーセントという実績でした。対前年比では、9,882人の減でしたが、近隣の東京都、神奈川県、埼玉県等からも供給を受けることで、安全な血液を安定的に医療機関に供給することができました。より安全性を高めるため、400ミリリットルの献血を引き続きお願いしているところです。

月別献血者の推移ですが、平成26年度に比べますと、平成27年度はやはり厳しい状況でした。そのため、イベントなどを行い、なるべく献血者数を確保するよう努めました。

年齢別献血者の推移ですが、少子高齢化に伴い、若年者の献血数が年々減少しています。16歳から献血を行うことができますが、10代の献血者数が特に減少しています。少子化のため、献血者の数が減少することは仕方のないことです。

が、割合としても減少しています。

続いて、平成28年度の献血受入目標数についてですが、2月末現在の実績は、400ミリリットルが136,785人、200ミリリットルが9,062人でした。献血ルームで行っている成分献血は54,713人、平成28年4月から平成29年2月までの合計は200,560人でした。

平成28年度の目標達成率は、2月末現在で、全血献血の400ミリリットルで換算いたしますと97.9パーセント、成分献血では93.2パーセントとなっております。平成27年度の全血献血は102.1パーセントの達成率でしたので、それと比べると減少しております。

400ミリリットル献血の推移ですが、平成27年度、千葉県では全献血の91.2パーセントが400ミリリットルでした。医療機関から400ミリリットルの血液がほしいと要請される要請率は96.3パーセントでした。全国平均でみますと、平成27年度は400ミリリットル献血の割合が94.1パーセントでしたので、2.2ポイントの差があるということになります。千葉県内におきましては、平成26年度より、平成27年度の方が増えております。平成28年度につきましては94パーセントを超えており、平成29年度の目標としては95パーセントを考えております。

医療機関要請率と供給割合との差は5.1ポイントありましたが、その差は他県からの供給や、200ミリリットルを2つ供給するなどして対応いたしました。なぜ、400ミリリットルが望まれるかと申しますと、なるべく少ない人数の血液を輸血する方が副作用が軽減されるためです。そのため、医療機関からは400ミリリットルの要請率が高くなっているわけです。千葉県では、その供給がまかなえていないという状態です。

また、成分献血、血小板ですけれども、4日間の保存が効き、がんの患者さん等に使っております。こちらの献血は、資料にもあるとおり、献血ルームで行っております。ただし、運転免許センターの献血ルームに限っては、成分献血は実施していません。以上が千葉県の献血状況でした。

続きまして、次の資料の千葉県における平成28年との赤血球製剤供給状況でございますが、平成28年4月が24,217単位で、平成27年4月が23,673単位というように、4月から2月までの数字が記載されております。

年度比較は平成27年度と平成28年度を比較したものです。6、7月が前年より低くなっていますが、全体的には、おおむね前年を超えております。夏の暑い時期は献血者が減り、秋には増えてまいります。2月までの比較では、101.3パーセントと伸びております。平成26年度との比較では、103パーセントで、供給は伸びております。

関東で言いますと、東京都、神奈川県、埼玉県におきましても、赤血球製剤の供給が伸びております。日本全体においては減少傾向にありますが、関東圏では

供給数が伸びておりまして、今後、この地区でも増床計画があるとうかがっておりますので、次年度につきましてもより一層使用が伸びていくだろうと予測しております。

平成28年度の採血実績と供給単位数の比較ですが、4月の24, 217単位は使った数、25, 391単位は集めた数となっています。製造供給がマイナスの所、8月・9月・11月は集めることができなかったと言えます。昨年度におきましては、6月と10月以外はすべてマイナスでしたが、今年度につきましては、たくさんの方にご協力いただきました。

平成29年度は献血車へ1日40名以上、できれば50名を確保していきたいと考えております。

(堀江会長)

いくつか確認したいことがあります。

冊子の3ページの献血区分別実施状況の鎌ヶ谷市は200ミリリットル、400ミリリットルと分けていますが、習志野市、八千代市の合計は200ミリリットル、400ミリリットルの合計ですか。

(事務局) はい。そうです。

(堀江会長)

千葉県の献血状況の一枚目の年齢別献血者推移のグラフですが、70歳以上は献血できないのですね。

(事務局) そうです。69歳までとなっております。

(堀江会長) 献血をしたいといっても、断られてしまうということですよ。

(血液センター)

現状としては、よく献血をしないと、70歳を超えた方がおいでになります。元気であったとしても「すみません。69歳までです。」とお断りをさせていただいています。

(藤田委員) 上限はわかりましたが、下は何歳からできますか。

(血液センター)

16歳、誕生日がきて16歳になっていれば献血をすることが可能です。

(堀江会長)

2枚目の平成28年度採血実績と供給単位数の比較の採血実績の単位は何ですか。

(事務局)

200ミリリットルの献血を1単位として、400ミリリットルの献血が2単位となりますので、200ミリリットルの献血数と400ミリリットルの献血数に2をかけて、それぞれ足したものが実績となっております。

(堀江会長)

そうすると、200ミリリットルが1人、400ミリリットルが1人で、600ミリリットルの場合は、3単位ということですね。

(血液センター) はい。そういうことになります。

(堀江会長)

皆様、ご質問はございませんか。遠慮なくお願いいたします。なければ、議題1については、承認いたします。

(一同) 異議なし

(堀江会長)

次に、議題2「平成29年度献血事業実施計画について(案)」事務局説明を願います。

(事務局)

資料編4ページ目の「2.平成29年度献血事業実施計画(案)」をご覧ください。

鎌ヶ谷市主催事業実施計画については、移動採血車の稼働を考慮し、(1)の表のとおり計画を立てました。平成29年度は、警察署で3回、消防署で2回、市役所で4回を予定しています。これまで、イオンでも実施させていただきましたが、平成28年度に5回実施いたしまして、1回目が21人、2回目が17人、3回目が22人、4回目が20人、5回目が36人と、1日当たり平均20名程度と伸び悩んでおります。この状況では、献血車をまわせないということになりまして、平成29年度はイオンでの実施を見送りました。献血車の配車につきましては、血液センターからご説明させていただきます。

(血液センター)

1日の採血車で、40～50名の献血数が確保できない場合は、血液の安定的な供給という面で、厳しい状況です。献血車の台数も決まっておりますので、献血会場の精査をさせていただいております。以後やらないのかということではなく、例えば、ライオンズクラブやロータリークラブ等の協力団体様には当日の呼びかけをお願いしておりますが、会員の方を献血者として動員していただくなどができたら、こちらの会場を新たに作りましょうということになるかと思いますが、平成28年度もこういった動員がなかったため、イオンの方は見送らせていただきました。

1日40～50名お願いしたいとお話しいたしましたが、事業所等主催の献血は、半日単位で行っておりますので、その数字とご理解いただければと思います。

ちなみに、鎌ヶ谷市役所の実績の資料をご覧ください。平成28年度は数が少し減っていますが、市役所の免震工事を行っておりますので、これが終わって正面玄関の方でお願いできるようになると、数も増えてくると考えております。また、年齢別では、20代30代が少なく、40代以上の方に多くお願いしているというのが鎌ヶ谷市役所の現状でございます。

(事務局)

4ページの計画案を作成しましたが、協力団体の割り振りもこちらでさせていただきましたので、よろしく願いいたします。

今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、新規開拓できないか検討もしながら、できうる限りの工夫をしてみたいと思っておりますので、今後とも、関係の皆様方のご協力をお願いします。

平成29年度のご協力につきましては、実施時間の調整が済み次第、各協力団体様へは、後日、確認の連絡をさせていただきたいと思っております。平成29年度も、よろしく願いいたします。

(堀江会長)

ただ今の説明に対し、ご質問等ございませんか。なければ、議題2については、承認いたします。

(一同) 異議なし

(堀江会長)

次に、議題3「その他」に入りますが、委員の皆様、この際聞いておきたいことなどございましたら、お願いいたします。

(血液センター)

先ほど、事務局の方から、新規開拓というお話がありましたが、先日、2月に、鎌ヶ谷市立東部小学校の方へお邪魔させていただきまして、校長先生と東部小学校のPTAの方にお問い合わせできないかという話が進んでおります。こういった新規の話もありますが、イオンへの動員をお願いできないかとお話ししたところ、遠くて無理ではないか、それであれば学校に献血車を持ってきてはどうかとご意見をいただきました。

このように、動員をかけてくださるということでしたら、半日枠で構いませんので、ぜひ関係団体へお声をかけていただければと思います。

(堀江会長)

1日40～50名ということは、半日で20～25名くらいの予想があればよいということですね。

(血液センター)

1台の献血車に4つの献血シートがあります。1時間3回くらいしか回せないで、2時間で20名くらいでしょうか。そのくらいで考えておりますので、よろしくお願ひできればと思います。

(堀江会長)

事務局、何かありますか。

(事務局)

今期委員の任期が平成29年7月29日までとなっておりますので、それ以降の推薦届を6月下旬頃、送付させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

また、期日前に委員の交代等が生じた場合には、鎌ヶ谷市健康増進課までご連絡くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

また、免震工事も、平成29年度には終わる予定ですので、献血車が正面玄関でできるようになれば、献血数も伸びてくるのではないかと思います。それから、半日枠でも20名くらい集まれるところがあれば、ぜひお声掛けいただきたいので、よろしくお願ひいたします。

(豊田委員)

事業所でも、みんな半日やっているのですか。1日に増やせば、どうでしょうか。

(血液センター)

ほとんどが半日単位です。企業でも勤めている人が限られておりますので、1日開けていても、これ以上は献血する人がいないという状況です。

(堀江会長)

なければ、以上で本日の日程を全て終了いたします。皆様、ご協力ありがとうございました。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証し署名する。

平成29年7月31日

署名人 豊田 朋二

署名人 藤田 次男